

「改革 2020」の策定に向けて

平成 26 年 11 月 28 日

産業競争力会議 改革 2020 ワーキンググループ

主査 竹中平蔵

オリンピック・パラリンピック競技大会等が東京で開催され、国際的に日本への注目が高まる 2020 年を日本再興戦略で掲げた諸改革を進めるレバレッジ（槌子）として活用し、改革をアクセラレート（加速）させる

検討の視点

- ・日本再興戦略で実現を目指すこととされた具体的な政策課題を 2020 年に実現するためのアクションプログラムを策定する
- ・単なるデモンストレーションに留まらず、経済社会構造の抜本的な改革につながるものを取り扱う
- ・ショーケース化を通して 2020 年に世界へアピールが可能な課題に焦点を当てるとともに、ショーケース化するプロジェクトの責任体制を明確化する

進め方

- ・検討事項についてのフィージビリティあるアクションプログラムを審議し整理する
- ・国家戦略特別区域諮問会議、その他の会議体との連携を図る
- ・東京に限らず、日本国内で世界に注目されるポテンシャルを有する、選ばれた拠点を形成することを意識する
- ・2020 年に向けた政策マップを作成するとともに、「ワンストップセンター」の積極的活用等を通して改革の成果を訪日外国人投資家等にアピールすることに取り組み、民間、国、地方自治体の責任ある参画を引き出すことを意識する

以上